

教科シラバス（国語科）

科目名	国語表現	単位数	2	対象	3 年（選択）	使用教材	教科書	国語表現 改訂版（教育出版）	副教材	デジタル版新国語便覧（第一学習社）
学 習 目 標										
・国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てます。										
学 習 内 容	単元・要目		指導項目			学習内容				
	2 文章表現の基礎		1 語句の用法と文のくぎり方 2 文章のリフォーム―推敲			・文字の表記から分かりやすい文章の書き方まで、文章表現に必要な基礎力を確認します。				
	3 小論文 I		1 文章の「型」―構成の方法 2 構成ノート			・文章の「型」を学び、文書を論理的に書く基礎力を養います。				
	4 声の表現		1 声を出そう―発声・発音 2 文字を声に変える 3 スピーチの方法			・声を発する具体的な場面を想定し、音声言語による表現方法の基礎を学びます。				
	5 人とつながる言葉		1 挨拶と人間関係 2 待遇表現―敬語によるコミュニケーション			・言葉の性質や言葉と人間との関わりについて理解し、言語生活や具体的な表現活動に役立て、人間関係を維持・構築していこうとする認識を養います。				
	6 面接―社会と接点		1 自分を知る 2 相手を知る―志望先の情報を集める 3 模擬面接をする			・自己を知り、場面を判断し相手に配慮して、自分の意見を述べるといふ面接の学習を通し、社会への参加能力を育てます。				
	8 言葉を届ける		1 電子メール 2 電話とメモ 3 手紙			・日常的なコミュニケーションに必要な基礎知識を理解し、自らの表現に生かします。				
容	11 話し合いの方法		1 ブレインストーミング 2 意思決定・合意形成のための会議			・目的に合わせた話し合いの形式や手法を学び、意思決定や合意形成のための会議の方法とルールを理解します。				
授 業 の 概 要 と 特 色		・自分の考えを持って論理的に意見を述べたり、相手の考えを尊重して話し合ったりする力を伸ばすことを目指します。 ・小論文・作文対策として時事問題に関心を持ち、情報を的確に収集し、正しく理解し、自分の考えを深化できるように発展学習を行います。								
学 習 評 価 の 観 点 及 び 方 法		(観点1：関心・意欲・態度) ・授業態度、予習状況、ノートのまとめ方などを確認し、評価します。 (観点2：話す・聞く能力) ・話す場面、聞く場面において、それぞれ設定した項目に沿って評価します。 (観点3：書く能力) ・感想文、意見文、要約文などを書き、その内容や表記の仕方について評価します。 (観点4：読む能力) ・定期考査などにおいて読解力を問い、評価します。 (観点5：知識・理解) ・定期考査や小テストにおいて語句の知識や文法事項などを問い、評価します。								
学 習 サ ー		・普段から新聞やテレビ、書籍、インターネット検索など、様々な媒体を用いて情報収集し、周りの人たちと意見を交換し合ったり、自分の意見をまとめたりする習慣を付けましょう。（面接・小論文・作文） ・相手との関係を踏まえた適切な言葉遣いを心がけましょう。（面接）								